



< 報道関係各位 >

2024年8月吉日  
株式会社 QPS 研究所

**QPS 研究所小型 SAR 衛星 8 号機「アマテル-IV」**  
**日本時間8月 17 日(土)に打上げ予定**

世界トップレベルの小型 SAR<sup>※1</sup> 衛星の開発・運用を行う株式会社 QPS 研究所（福岡市中央区、代表取締役社長 CEO：大西俊輔、以下 QPS 研究所）は、小型 SAR 衛星 QPS-SAR 8 号機「アマテル-IV」の打上げが 2024 年 8 月 17 日（土）になりましたことをお知らせいたします。

打上げロケット	SpaceX 社 Falcon9 「Transporter-11」
打上げ予定日時	2024 年 8 月 17 日（土）午前 3 時 20 分（日本時間） <u>※日時は天候などの影響により、順延する可能性があります。変更がありましたら随時公式ウェブサイトのニュースページ、または公式 SNS でお伝えします。</u>
投入予定軌道	太陽同期軌道
打上げ射場	米国カリフォルニア州ヴァンデンバーグ宇宙軍基地

打上げのライブ配信は SpaceX 社のウェブサイト（<https://www.spacex.com/launches>）で 10 分前から開始予定です。ロケット打上げ、衛星分離後に初交信の成功については確認でき次第、QPS 研究所の公式ウェブサイト、SNS で発表させていただく予定です。

< 「QPS-SAR プロジェクト」について >

QPS 研究所は収納性が高く、軽量でありながら大型の展開式アンテナ（特許取得）を開発。そのアンテナによって強い電波を出すことが可能になり、従来の SAR 衛星の 20 分の 1 の質量、100 分の 1 のコストとなる高精細小型 SAR 衛星「QPS-SAR」の開発に成功しました。QPS-SAR は日本の民間 SAR 衛星で最高となる 46cm 分解能<sup>※2</sup> の画像取得が可能です。現在は商用機 3 機を運用しており、2027 年度には 24 機、そして最終的には 36 機の衛星コンステレーション<sup>※3</sup> で平均 10 分毎という準リアルタイム観測データ提供サービスを目指しています。

< 株式会社 QPS 研究所について >

QPS 研究所は 2005 年に福岡で創業されました。名前の QPS は「Q-shu Pioneers of Space」の頭文字を取っており、九州宇宙産業の開拓者となること、更には九州の地より日本ならびに世界の宇宙産業の発展に貢献するとの思いが込められています。その名の通り、九州大学での小型人工衛星開発の技術をベースに、国内外で衛星開発やスペースデブリへの取り組みに携わってきたパイオニア的存在である名誉教授陣と若手技術者・実業家が一緒になって、宇宙技術開発を行っています。また、QPS 研究所の事業は、創業者たちが宇宙技術を伝承し育成してきた北部九州を中心とする、全国 25 社以上のパートナー企業に力強く支えられています。

(※1) SAR（合成開口レーダー）：電波を使用して地表の画像を得るレーダー。雲や噴煙を透過し、昼夜を問わず観測することができる点が特長です。

(※2) アジマス、グラウンドレンジともに 46cm 分解能を意味します。（グラウンドレンジはオフナディア角 30 度での規定）

(※3) 複数の人工衛星によって、高頻度な地球観測を可能とするシステム。（コンステレーションは「星座」の意。）

プレス関係の方のお問い合わせ先  
株式会社QPS研究所 〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-15-35 レンゴー福岡天神ビル 6階  
担当名：有吉・久原 Email: [press@i-qps.com](mailto:press@i-qps.com)